



シリーズ  
タンチョウ  
Vol. 375

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

石下 亜衣紗

〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ 検索



## タンチョウ絶滅危惧種から除外～もう保護はされないの？～



今年の3月、「タンチョウが35年ぶりに絶滅危惧種から外れた」というニュースが大きく報道されました。「このところメガソーラー問題も取り沙汰されているのに、大丈夫なの？」と感じた方もいたかと思います。この見出しはちょっと誤解を招く表現でしたので、今回のレッドリストランクの引き下げでタンチョウ保護へはどんな影響があるのか、簡単におさらいしてみます。

### まずはレッドリストとは何でしょう？

レッドリストとは、絶滅のおそれのある野生生物種のリストです。このリストでは生きものの現状から、絶滅したもの・絶滅の危機が高いものの種を右のようにカテゴリー分けして、ランク付けしています。(上から順に絶滅の危機が高い)

野生生物の生息状況は変化していくため、約5年ごとにこのランクが見直されていきます。今年の3月17日に環境省のレッドリスト(鳥類及び爬虫類・両生類)が更新、公表されました。

絶滅(E X)		
野生絶滅(E W)		
絶滅危惧 I A 類(C R)	絶滅危惧種	
絶滅危惧 I B 類(E N)		
絶滅危惧 II 類(V U)		
準絶滅危惧(N T)		
情報不足(D D)		
絶滅のおそれのある地域個体群(L P)		

### タンチョウのランクはどう変わったの？

これまでのタンチョウのランクは絶滅危惧 II 類(V U)でした。絶滅危惧 II 類(V U)に指定されるには個体数の減少スピード、生息地面積などいくつかの基準がありますが、現在のタンチョウの生息状況はこの基準よりも良いという判断となり、今回の見直しでランクが1つ下の準絶滅危惧(N T)へと変わりました。

「絶滅危惧種」と呼ばれるのは絶滅危惧 I A・I B 類(C R・E N)と絶滅危惧 II 類(V U)です。そのため、ランクが下がったことで、「絶滅危惧種」から外れており「タンチョウが絶滅危惧種から除外」というような表現で報道されました。

### もう保護はされないの？

ランクが下がってはいるものの、レッドリストから外れた訳ではありません。生息状況が悪化すれば、今後の改定でまたランクが上がる可能性もあります。

タンチョウはレッドリスト以外にも特別天然記念物、国内希少野生動植物種に指定されています。給餌は国内希少野生動植物種の保護増殖事業の一つとして行われていますので、今回のランクダウンで給餌の終了が決まった訳ではありません。また、タンチョウ自身を傷つけたり、営巣地の破壊や繁殖に影響を与えるような行為は引き続き規制されています。

まだ手放しで喜ぶことは難しい状況ですが、一度は絶滅したと思われていたタンチョウが、ここまで危機的状況を脱したことは、素晴らしい成果です。これも再発見から102年、地域の方々からはじまった保護活動が、波及し、続いてきたからこそその結果です。